京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

拙劣なる廣告術

旭川

東洋に於ては未だ然らざるも、西洋に於ては既に廣告術は一の學科と成り居れりと云ふ、染色術や着色法が一科學を成す以上廣告術が一學科となりたりとて別段驚くには當らざるも、驚く可きは當京城に於ける廣告術の幼稚拙劣を極め居れるのみならず、更に之れを研究せんとする人だになき事此れ也。新聞及び雜誌其他によりて發表せらるゝ當地商家の廣告を見るに、只徒らに面積の大を競ひ、文字の排列、配合等には寧も意を用ゐず、偶々にして之れ有るも花形なる模樣活版を以て其の周圍を繞くに止まる、斯くの如きも引き札或は包裝紙等にして單獨のものには可なるも、新聞、雜誌の廣告欄に置きては何んの効力なき場合多し、何んとなれば此れは連合的なるが故に殆んど同一意匠のものと隣接すること多く、恰かも縞柄相似たる銘仙と銘仙とを雙べたると同じく特異の點を認めしむることなければなり。

廣告の目的は自己の商品を世間に吹聽し、顧客をして自己商店の商品が他店の夫れに比してより以上優良なりとの感想を起さしむるにあるは云ふ迄もなし、當京城に於ける總ての廣告を通覽するに不幸にして善く此の目的を達し得と思はるゝもの一も有るなし、廣告料が高いの安いのゝ問題にはあらざるなり。

廣告は讀ますることよりも先づ見せんと心掛けざる可らず、諸君も必ず覺ねあることならむ、新聞紙類を手にして片端より通讀するは稀れにして其の題目の面白相なるを先きに讀むが多かるべし、廣告欄も又た此の例外に出づることなし、此れ見せるを心掛けよと云ふ所以にして、能ふべくば可成的其の全文を讀ましむべく或る意味に於て不明瞭なるも一條件たらん。

近頃散見することとなるが同一商組合が聯合にて廣告するがあれど、予は其の廣告主の意を知るに苦しまざるを得ず斯くして非常の信用と利益を饒倖するものは組合商中第一弱者たる小商店にて、彼れは聯合なる美名に依りて大商店と連帶し、此れと同一の信用あるものと認めらるゝの利あり、而して一方大商店側に取りては、自己の優れたる特色と信用とを他店と平均せらるゝの損失あり、廣告料が安いの高いの位の問題に非ず。敬愛する商店主の三省を希望す。

雜報

北韓たより（二）

▲大豆市況の好況　韓國に於ける大豆は品質に於ても其の量格より觀るも全土を凌駕し從つて本邦市場に於ける相場も一石に就いて一圓以上の高値を呼びつゝあり、然るに昨年の如きは北韓全体をして飢饉の狀態に陷らしめたる爲に米作の收穫乏しく農民は已むなく大豆を食料に給して僅かに凌ぎ居る有樣なりしが市場に現はるゝ高は例年に比較して尠少なりしと又一方に於ては滿州大豆が昨年度は豫想外の豐作と且つ品質も佳なりしものゝ現はれしを以て本邦醬油釀造家として毎年北韓大豆を使用し給したるものが昨年始めて滿州大豆を使用し以外の好結果を得たれば大阪市場に於てさしも十一圓臺なりし北韓大豆は九圓臺の大暴落を見るに至りたれば北韓の大豆市場に一大頓挫を來し起業家をして漸く杞憂の念を抱かしめたる結果は大豆市場惰眠の姿にて越年し本年五六月の端近期に入りても亦市場依然として振はず剩へ下落に下落を告げ惰眠中に市場は閉鎖されたりこれ即ち北韓經濟界に不況を與へたる大根原たりしなり、然るに本年度に於ては初夏に永續きの降雨のため到る處出水甚だしく爲めに收穫上如何を憂慮せしも出水時機の早かりし故にや收穫上に些細の影響を被らず充分の收獲を得るに至り農民は漸く愁眉を開き市場もために幾分活況を呈するに至れり去る十月の走り相場は七圓を呼び漸次下落の傾向ありしも年末に入りてより本邦市場の好況を示すと共に市場色めき來り從つて韓人間の出荷多く元山市場のみにても一日二三千石を下らず殊に北韓唯一の良質を以て目さる端川大豆は本年以來の豐作にて昨年度に於ける不況を挽回するを得たれば農民は一般に喜悦の情態に在り要するに北韓に於ける大豆は明太と共に最も重要なる産物輸出品にして若し明太及び大豆の不況なるに於ては北韓全体を通じて不景氣に陷らしむるを以て從つて金融上に大影響に及ぼし韓人の購買力を減退ならしむるは當然の事に屬するが故に北韓の經濟界は殆んど大豆と明太にて支配するの觀を呈するものなれば明太及び大豆が北韓に對して如何に重要品なるかを知るに難からざるべし、夫れが本年は豐作の上に相場も相等に好況を呼びつゝあれば北韓の經濟界は目下の處先づ順潮に向ひつゝあるもの〻如し（社友報）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

日本銘刀傳

第六席　邑井一講演

五「此疵は小便へ出やうと思つて、戸を開ける途端に鍋棚から鍋が落ちて怒りまして此樣に疵が付きました」行「危ねエ、膏藥でも貼けたか」五「イヽエ」行「何か付けなければ跡になると往かねえ、コレ、野郎共、其樣に大勢揃つて居て五郎が斯う目立つ怪我をして居るのに膏藥の一つも貼つて與れさうなものぢやアねえか、氣の付かねえにも程があるぢやあねえか」職「夫れだから泣いて居るです」行「何だと……」職「へー、お早うございます」行「馬鹿、何を詰らねえことを言つて居るんだ」是れで行光も氣が付かずにしまつたが、此儘で濟めば何のことはないのだが、お秋の病氣は癒つたが、五郎を惡むことは以前に倍し、心の中では事に依ると五郎に此家督を取られるかも知れない、さうなれば新太郎が可憫想だ、我が子の爲めには鬼にもなる、一層五郎を殺してしまはふかと云ふ女心の淺慕にも毒藥を五郎の食事の中へ入れる、フト五郎が氣が付いて是れは堪らんと思つたか、五「母かさん、時候の當りで、胸へ痞へて御飯が戴けません」朝飯は食はずに濟ます、晝になつても氣味が惡くて食はねから　五「お母さん、まだ胸を痛うございます」と到頭其日は飯を食はない三日許り食事をしないで居た病人なら兎も角も達者で立働くものが三度の食事をしないのだから堪らない終にはヒヨロ〳〵と歩くのさへ滿足に出來ない、是では飯を食つても死ぬ、飯を食はんでも死ぬ、斯うなつたら仕方がない、一つ相談をして來やう」と、五郎は淚片手に出て來たのが同じ鎌倉坂の下の國光と云ふ刀鍛冶だ、新藤吾國光と云つて、行光の弟弟子だ隨分仕事は能く出來たが、木は木、竹は竹と云ふ氣質で、世渡りが下手だから、刀鍛冶では食へないので、鉈や鎌を作つて漸く世渡りをして居る然し氣質はサツパリしたものです、似た者夫婦とやらで女房のお光と云ふのもガラ〳〵した調子の好い親切者であります、國光は晝時分だから、女房に給仕をさせて、飯を食つて居ると、表の格子をガラ〳〵　國「オヤ、誰か來たやうだ、氣を付けねエと下駄盜人が流行ると云ふから……」女房「オヤ五郎さんだ」國「オ、五郎か、評判が大層好いぜ、親孝行だつて……好い事だ、まだ飯前だらう何にもねえが俺と取膳で飯を食つて往くが宜い、おみつ飯の支度をして遣れ」五「イ、エ、御飯は戴きたくはございません」國「何を泣くんだ、小供と喧嘩でも仕掛けられたのか」五「お父さんがお惡いことや、お母さん、お惡いことを他人樣に言ふてはならんと云ふ教ねも能く知つて居ますが、今度許りは何うも私の胸のうちへ仕舞つて置くことが出來ませんから御相談に上つたのでございます」國「ウム、さうか、何なりと俺に隱くすことはねえ、話して見ろ」五「御存知の通りお母さんと私はなさぬ仲朝から晩まで心を付けて居りますが、私のする事がお氣に入らず先日もお母さんの御病氣の一日も早く御全快になりますやうにと、夜、人の寢靜まつた時分に井戸端で水を浴び、稻荷樣を拜んで居ましたのを、勿体ない妾を祈殺すのだらうと、藥鍋で御打擲、いまだに殘る眉間の疵、夫れも厭ひませんが此程は私に毒を飲ませやうとなされます、お母さんに命を取られるのは厭ひませんが、お父さんの有仰るには頼みに思ふは其方許り、成人して天子樣の御番鍛冶、相模の宗匠になつて呉れよ、相州傳を日本國中に廣めて呉れよとの難有いお言葉、お母さんに義理を立やうとすればお父さんに濟ます、お父さんのお言葉に從へばお母さんに濟ます、其上段々と募つて來る母樣の邪見、助かつて宜いものならば助かりとうございます、死んで宜いものならば死にたうございます、私が生きて居るのが宜いか、死んだ方が宜いか何れに致したが宜いか伯父さん此二タ道をお分けなすつて下さいまし」



京城新報

京城の秩序破る

▲當局者の猛省を乞ふ

兇徒毒刄を振つて白晝公然總理大臣李完用を街上に刺す、京城の秩序破れたるは之れを以て證するを得、噫寒心すべきなり。

抑も李完用を刺したる兇漢の目的は自己一人の意より出でたるものなるや將た或は他の使嗾より出でたるや未だ判明せずと雖も彼れが捕縛さるゝに當つて揚言したる處に依れば自分のかゝる兇行を敢て爲したるは全然韓國の現狀に就いて激怒し且つ熱愛するの余り兇行を企てたるなり云々と然し之等の言は之れを公衆に聽かしむる目的にや英語を以て高らかに放言せり、余輩は兇漢が兇行に就いて前記の如く揚言をなしたるに拘はらずこの目的たるやこれを熟知するに苦しむ只彼れが殊に白耳義皇帝追悼會の機會を捉へたるに就いては相も變らず外國人の重なる人に知らしめて同情を求んとしたるより出でたるものと察するを得彼が如何なる目的を懷き居りしかは別問題として彼は白耳義皇帝の追悼會の機會に於て白晝公々然と各國領事及び內外人の目前に於て毒刄を振つて悠々と兇行を敢て爲したるも警護の警察官之れを遮ぎる事能はずして群衆亦之を制せず而も李完用の外に車夫までも斃されたるは之れを京城の吾々が聽くに及んで震駭に値ひするのみならず本邦に於けるもの及び列國に於けるものが之れを聞くに及びては只に驚愕するのみならず一種異樣の感を持つ事ならん。

今や韓國の公安秩序は我が統監府の直間接に維持する處なり特に京城の公安秩序に至つては我が統監府は憲兵及び警察の兩機關を以て之れを意のまゝに使用し公安秩序を維持する固より完全に出來得る機になり居れり然るに斯く機關の完備したる裡に於て今回の如き兇行が企てられ而して實行されたると云ふ事は單に兇行者が秘密の裡に巧妙に爲したりとは云ひながらあまりに憲兵警察兩機關の應揚なる事を暴露されたるものと言はざるべからず。

曩きにハルビンに於ける伊藤公の兇變に當つて我が當局者はハルビン兇行者の連類者等の有無を搜索する爲めに京城の憲兵隊及び警察官を活動せしめ京城、平壤を中心として百方搜索せしめたるにあらずや特に平壤は兇漢安重根の出身地なるを以て憲兵及び警察官は嚴重なる搜索を爲したれば少しにても怪しきものは憲兵警察に於て分明なる筈なり而るにハルビン兇變以來李完用暗殺の弊習なかりしにも拘はらず、伊藤公兇變以來未だ七十五日を經過せざるに今日に於て今回の兇行を實現せしめたるは要するに當局者があまりに暢氣に構へ居たるに因ると稱せらるゝも一言なかるべきなり。

京城の秩序破る、而も一韓人兇行者の爲めに其の秩序破れ居るを世界の前に廣告せられたるは之れ不面目保護政治の體面に傷を受けたるものなり噫余輩は何とか言はん只だ今回の兇變に就いて深く悲むと同時に當局者の猛省を乞はずんばあらざるなり

東京電報

▲同志會と警告書

對韓同志會は韓國問題に關して曾禰統監に警告書を送り且つ桂首相の意見を問ふ所ありたり（廿三日）

▲開院式に御臨幸

天皇陛下には廿四日午前十一時御出門貴族院に行幸第二十六帝國議會開院式に御親臨あらせらるゝ旨仰出されたり

▲兩院部長と理事

第二十六回帝國議會は二十二日を以て召集せられ兩院共先づ部屬を定め部長理事の撰擧を行ひたり（同上）

▲首相遭難と東京

李首相遭難は東京各新聞號外にて逸早く報道せられ頗る驚駭せしめたり

▲韓太子の御慰問

韓太子は李總理遭難の飛電を聞き非常に驚愕され直ちに慰問の電報を發せられたり

▲岡內部次官出發

內部次官岡喜七郎氏は本日午後三時新橋出發歸韓の途に就く（同上）

雜報

獰猛なる平壤人

●●●●●●菊地商工局長談片

前平壤理事官菊地農商工部商工局長語つて曰く平壤人士の獰猛なるは蓋し先天的にして現に予が同地理事官在勤中彼の新協約訂結當時の如き實に慘絕凄絕を極め無賴の壯漢道路に充ち激烈なる言論を放ち其危險名狀すべからず其際警戒の警察官は總出にて萬一を警戒し居りしか遂に無數の投石霰の如く飛び容易に鎭靜すべくもあらざるより血氣に逸やる警察官は劍を拔き突擊して群聚の勢威を崩さんと欲し幾度か予に要請し來りたるも却て反撥の虞れあるより嚴に之を禁じ幸にして無事鎭亂せしむるを得たり若し當時武力に訴ゆれば京城の慘劇は同地にても現出したるならん同地人士は恰かも我が靑森人は薩摩隼人の夫れの如く個人としても頗る兇悍にして暗殺には好箇の性格を有するが如し外敎に對する彼等の系統は二派ありて孰れも排日思想に深染し先天的兇猛に排日思想を加味せる爲め更に一層其度を高からしめたるものと考へらる尤も現在の外國宣敎師は往時の如く亂暴なる思想を鼓吹せず且つ彼等はナショナル性を有せざる米國人なれば布敎上の方便として一時は排日思想を利用せしも現時は次第に緩和しさせたる形跡あるも往時馴致せられたるも習性となり危險分子を養成せるものならん云々（電通）

研究會の成立（時局問題）

在京城新聞記者特派員の有志は昨二十二日午後六時より京城ホテルに集會時局問題研究會設立に關する協議を爲したる結果別項の會則を議定し左の諸氏を常議員に撰定したり

朝鮮日日新聞社長	今井忠雄
京城新報社長	峯岸繁太郎
大韓日報社長	戶叶薰雄
國民新聞社特派員	熊谷直亮
大阪朝日新聞特派員	山本光三
報知新聞特派員	武田卓爾
時事新報特派員	橫尾新一郎
大阪每日新聞特派員	楢崎觀一
日本電報通信京城支局長	牧山耕藏

因に常議員は今後の活動方法に就き協議する所ありたり

時局問題研究會々則

一昨廿二日午後六時より京城ホテルに於て開會したる時局問題研究會設立委員會に於て議決したる研究會々則全文左の如し

第一條　本會を時局問題研究會と稱す

第二條　本會は時局問題を研究し健全なる輿論を喚起することを目的とす

第三條　本會は在韓日本人同志を以て組織し會員を分つて正會員贊助會員に分つ

正會員の入會は常議員二名以上の紹介を要す

第四條　本會に常議員若干名を置き諸般の會務を處理せしむ

第五條　本會の經費は會員の醵出を以て支辨す

附　則

第六條　前項規定外の必要事項は常議員會に於て之を定め常議員會は過半數の出席者を以て成立す

時局問題政談大演說會

時局問題研究會の主催にて來廿五日午后六時より京城歌舞伎座に於て時局に關する政談大演說會を開催する事に決し目下諸般の準備中なりと

李完用氏の容態

●●●鶴田漢城病院醫士談●●●

廿三日正午に於ける首相の容態は體溫三十七度六分脈搏九十六呼吸三十六にて今の處經過善良なる尤も肺部刺傷出血の爲め左肺に肺氣腫を越し居れるも右肺は何等の異狀を認めず健全なり尙は略啖に血を混ずる事なく隨て肺部傷創の大ならざるを證すべく今の處決して創部の化膿する事なきは深く信ずる處にて非常に健康に照して併病併發の虞れもなかるべく[illegible]五週[illegible]後には全癒を見るならん（電通）

政府在官者の數

最近の調査に依る政府在官者の數を聞くに左の如し

		親任	勅任	奏任	判任
宮內府	日	一	一	一五	二三四
	韓	五	六七	一七七	四九七
內閣	日	｜	｜	｜	三七
	韓	六	四	一〇	五七
中樞院	日	｜	｜	｜	四
	韓	五	九	一二	三〇
內部	日	｜	一〇	九〇	七二七
	韓	｜	一八	三三四	[illegible]
度支部	日	｜	四	三三一	九〇八
	韓	｜	六	六九	九八三
學部	日	｜	二	二一	六六七
	韓	｜	二	二一	六九〇
農商工部	日	｜	八	四九	九二
	韓	｜		一三	〇五

●安奉線の時刻改正

滿鐵にては安奉線の貨車配給及輸送力增加の必要上四十三年一月初旬より列車發着時刻を改正する豫定なるが其要旨は左の如しと聞く

一、始發驛出發時間を可成丈繰下げ冬季旅客の便宜を圖ること

二、貨物列車時刻の接續を便にし貨車の運用を敏活ならしむること

三、輸送力不足の區間に貨物列車を增發すること

四、列車を可成晝間に運轉せしめ夜間若くは早朝の列車を少くすること

●臨時大臣豫算會議

李總理大臣兇變の爲め韓廷は一昨二十二日來非常の混雜を極め居るも政務の進行は一刻も沮止せしむべからず殊に來年度豫算更始期は眼前に急に迫り居る際ゆへ昨二十二日午前十一時より統監邸に各大臣及び參與官を召集して臨時閣議を開き査定豫算を討議せりと

●騷擾農民は暴動罪

去る十五日農民百七十餘名を率ひて東拓會社出張所を圍みたる金熙衍、黃伯泰の二名は其後筆洞憲兵分遣所に於て取調べ中なりしが今回暴動罪として處分せらるゝことに決定したりと云ふ

●豫算と內閣會議

最近各部の豫算審査は度支部に於て全く終了を告げ昨二十三日の內閣會議に上り確定されたる筈なるが夫が爲め度支部より荒井次官は司計局長を隨ひ同說明の爲め內閣會議に參會したりと

●龍山と京城の地區

龍山繁榮會の主唱により在龍山京城民團管理地區を同民團に收めんと運動を試みたるも該地區は軍用地の貸付を受たるものにして京城將來の發展に備ふる必要地なれば到底成立せざるべしと

●兩鐵山の引繼開始

載寧殷栗の兩鐵山は既報の如く若松製鐵所の經營に委する事となり之が引繼事務打合の爲め伊藤主事若松へ出張を命ぜられたれば近々引繼を開始する筈

●研究會委員の選定

時局問題研究會にては廿二日委員を選定し其後の運動に對する事務を處理する爲め會計係に武田、記錄係に楢崎、庶務に牧山の三氏を撰定したりと

●行政調査會の開催

昨二十三日午後一時より統監府總務長官室に於て地方行政調査委員會を開催

農事經營者の數

農商工部最近の調査に依れば韓國に於ける邦人の農事經營者總數は戶數八百〇六戶にして人口二千六百十三人なりと云ふ其明細表左の如し

道府名	戶數	人口
漢城府	四、五二一	一八、三三二
京畿道	一八〇、〇九一	七一四、四四六
忠淸北道	九四、九六二	三三五、五三〇
忠淸南道	一五五、九三七	五五七、八九六
全羅北道	一三三、二七三	七〇九、二九一
全羅南道	一三八、五五三	五〇八、五九五
慶尙北道	一三三、二五九	七九七、四八六
慶尙南道	一三八、八七七	九四八、二九二
黃海道	一七四、四三三	七一八、七三一
平安南道	一三五、四四四	四九九、二一六
平安北道	一三七、二九四	五四九、三二九
江原道	一三三、四二〇	四八二、一八七
咸鏡南道	一〇七、八二一	五〇七、七六八
咸鏡北道	四六、八〇七	一四五、四二五
計	一、九四二、六九〇	七、五一〇、五〇三

因に全國に於ける韓農民の戶數は百九十四萬二千六百九十戶にして人口は七百五十一萬五十三人なり猶ほ淸國人其他の外國人にして斯業に從事する者は淸國人の戶數百四十六戶人口五百二十四人にして米國人農事經營者は五戶十人なりと云ふ

●韓航路競爭起らん

從來朝鮮航路は郵商兩社及び尼ケ崎の三社協定の上荷主側と特約を結び平和に航行しつゝありしも昨今鐵道院及び韓國鐵道との間に破格の運賃割引成立し海運と競爭的態度に出でたるを以て海運側に於いても對抗策として運賃協定を破壞し爾來郵船は漸次同航路より手を引き目下山東丸一隻を殘し居るのみにて同航路に從事するものは商船會社以外僅かに尼ケ崎の一隻に過ぎざりしかば愈よ商船はこれを獨占せんと企て荷主に對して種々の策略を與へ尼ケ崎を壓迫せんとしたるより尼ケ崎汽船部は大に激怒し現在の一隻の定期船を更に三隻に增加し南部丸を借入れたる旨關西滊船同盟を介して商船に通告したるより商船會社は今更の如く狼狽し從來の通り一隻にて現狀を維持せんと交涉を開きたれど尼ケ崎は買れたる喧嘩に既に戰鬪準備出來たる今日とてその要求を拒絕し種々交涉の結果三隻より以上は增加せざるの條件を以て妥協したるが商船會社に取りては實に蛇蝎の感なきにあらずして今後同航路は非常の競爭を見るならん

●釜山穀物市況盛況

釜山穀物市場に於ける本年十二月十一日より同月二十日に至る十日間の賣買取組高は總高四万三千八百二十五個にして之が內譯を示せば左の如し

糙米六百九十四個、中白米三千六百五十七個、糙二百五十二個、玄米二萬二千〇八十六個、糯糙米二十五個、日本糯白米七百七十五個、中白米八百三十六個、玄米五十九個、同粉米（白）百五十六個、同（玄）六個、大麥百八十五個、小麥百六十二個、蕎麥三十二個、粟三百九十四個、胡麻百六十個、荏子二十五個、綠豆七十三個、小豆百五十三個、大豆一萬四千七百九十八個

之を昨年の同期に比すれば總數に於て一万四千四百八十六個の增加にして則ち米に於て七千九百八十二個大豆に於て五千三百九十四個雜穀に於て一千百十個の各增加なり更に之を前旬報と對照すれば總數に於て六千四百八十三個の增加にして則ち米に於て六千六百三十七個雜穀は二百五十個の增加となり大豆に於ては四百四個の減少を來せり

●十二月中旬の貿易

十二月中旬外國貿易關稅局の調査如左

區別	本旬 本年分	前年同期
輸出品價	九五一、六六〇圓	六六九、一二五圓
輸入品價	九八〇、七一七	一、〇三六、五五一
合計	一、九三二、三七七	一、七〇五、六六六
輸入超過	二九、〇五七	三四七、四三六

本年貿易額の港別左の如し

港別	本旬分 輸出額	輸入額	計
仁川	九八、八四五圓	二六四、三〇一圓	三六三、一四六圓
釜山	二〇七、三〇八	一九九、二九四	四〇六、六〇二
元山	一九六、〇〇五	九五、八四五	二九一、八五〇
鎭南浦	[illegible]	[illegible]	一四四、四八二
京城	三、〇六三	三〇、九六九	三四、〇三二
群山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
馬山浦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
淸津	[illegible]	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新義州	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	九五一、六六〇	九八〇、七一七	一、九三二、三七七

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

港別	前年一月以降本旬迄の累計 輸出額	輸入額
仁川	二、一三三、九九五圓	一七、一六六、一九二圓
釜山	四、二九八、八二五	八、七二五、五三四
元山	九八六、六六九	二、七六九、七〇七
鎭南浦	一、八五〇、九二四	二、九三二、二三〇
京城	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]
馬山浦	[illegible]	[illegible]
淸津	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]
新義州	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

●海運の景氣と仁川

仁川港に集中する地方の回穀は昨今に至り一時に劇增し日々の出廻り米豆を通じて一日少くも二千石多きは四千石を越ゆるに至り市場一帶の海岸は到處迚綿と米豆の山を築き壯觀を極むるが就中大豆は歐洲向き輸出もあり逐日價格も向上しつゝ從ふて市場景氣益々好良なり尙は一面阪神相場は仁川に比し相當の鞘を有するを以て輸出逐日增加の勢にて是が爲め近來海運業も久し振りにて大に振興色附き來れるが折節の北韓航路終航を利し大倍大智の二汽船を仁川航路に充用し尙他社外第二乾坤丸を借入れ目下交涉中との由なるが他社外船も同時仁川方面の出航を增加し來る等今後の海運界は近來珍しき盛況を呈するに至らん

●仁川民長の慰勞會

仁川岩崎民長は一昨廿二日午前中上京して曾禰統監其他を訪問し築港急設に關し陳情する處ありしが何れも之を諒容したる由にて同問題も意外に進捗し居れるが如しと因に築港期成委員は同日午後六時より民長を鱗樓に招待して送別勞慰勞の宴を催ふしたりと云ふ

●南大門稅關の遲滯

南大門稅關の事務遲滯の事は既報したるが今や年末に際して稅關事務の遲滯する爲め商人の迷惑する者頗る多く之が爲め二十三日京城商業會議所より山口書記長代理は稅關へ交涉に赴きたり

●通行禁止撤去請願

仁川の一名物たる月尾橋の通行を禁止せし由は既報せし如くなるが仁川經濟會は商業會議所を經て近日之れが禁止撤去の請願書を當局者に提出すべしと

●郵船代理店の競爭

日本郵船會社仁川支店廢止の件は總會にて之れを可決し其引揚等は重役に一任したる由なるが利に敏なる仁川商人は右支店引揚後當然代理店を置かるべきを豫想し暗中競爭を始めたりと云ふ

●境野憲兵中佐轉任

元間島憲兵分隊長たりし境野憲兵中佐は今回北海道旭川憲兵隊長に轉任し廿三日午前九時南大門發列車にて出發

●燈臺巡視船の出港

仁川に碇船中の燈臺巡視船光濟號は二十三日木浦釜山方面に向け出港せり

●ハリス博士の出發

滯京中なりしハリス博士は二十三日午前九時南大門發列車にて日本へ出發

民團事件の眞相

去る二十日解職せられたる京城民團役所吏員六名に在職中非違の行爲ありとて一昨二十二日南部警察署は右六名を召喚して取調ぶる處ありしが右は民團の依賴に依れるものにして事件の眞相は彼等が第四課勤務中徵稅事務に從事し日々收納せし金額の內其幾分を私に流用せる形跡あるを發見したる爲めなるが如し而して會計役は彼等の收納報告に照合し遺算なきを認め之を收入したるのみなれば結局該流用金額は調定額に對する未收入となれる譯なり警察取調の結果は格別犯罪を構成するよなく落着すべしと云ふ

●地方典獄の歸任

過般開催せられたる典獄會議に列席の爲め入京せし公州監獄典獄芋川正義氏、海州監獄同古垣宗次郎氏、咸興監獄同諏訪善太郎氏等は去る二十二日出發各歸任したり

●內田良平氏出發

李完用遭難の爲め出發を延期すべしとの說ありたるも豫定の如く二十三日午前九時出發せり

●司法官等の歸任

入京中なりし咸興地方裁判所檢事正江津友彌氏同判事岩本泉治氏は廿二日出發歸任したり

●大垣丈夫氏出發

大韓協會顧問の同氏は昨二十三日午後十時四十分發の夜行列車にて日本へ向ひ出發したりと

●靑木一葉氏出張

仁川商業會議所靑木副會頭は港灣調査の爲め近日中阪神地方に出張する豫定なりといふ

●向田部長の歸任

開城よりの歸途入京中なりし京畿警察部長向田幸藏氏は二十二日退京揚州へ向つて出發せり

●遠藤技師の入京

度支部建築所技師遠藤善十郎氏は廿二日入京山本旅館

●國分哲氏の歸任

廿二日大連より仁川に入港せし辰丸にて國分哲氏歸任

●白川正治氏退京

滯京中なりし平壤實業新聞社長の同氏は廿二日歸壤す

●須藤事務官入城

全州財務監督局事務官須藤壽氏は廿二日入京不知火へ

▲治外法權▼

曾禰統監には寒威を增すに從ひ健康兎角勝れず近々東上御靜養の筈だつたが又しても李完用の一件で發途を延ばさるゝ事となつた兎角運の惡い御方は御氣の毒なものだ▲羅馬天主敎堂、ベルギー皇帝追悼會此大きな背景を有せる李完用暗殺の悲劇は背景が大きいだけに全世界の人の注意を惹いたことゝ思ふ▲李完用の命數如何に拘はらず差詰め置かざるべからざるは總理大臣署理なり、而して署理は朴齋純のものならんとは何人も想像するところ、此際內閣更迭などを夢見たとてソレは的切りダメなるべし▲金時鉉と云ふ男が美術工作所の資金を持出して政治運動に使つて居るソーだが小宮宮內府次官承知の上だらうか▲民團吏員中に民長の公印を三ッも四ッも持つて居たものが有つたとか無かつたとか、ソレが因を爲して疑獄が起りかけてるソーだ、ドーセ洗つて見たら碌な事は出まい、古城君一ト奮發するかね▲能登國巡錫中の本願寺法主に牛一頭を進上したものがある、牛と共に善光寺へ參れと生臭法主に諷した意かな▲白帝は遺產八千萬圓を情婦某に六百萬圓を婦女某に讓られた、コンゴーの象牙で儲けられた金も非難程には多額でない。

●仁川港の中旬貿易

仁川港に於ける本[illegible]外國貿易狀況[illegible]百四十五圓[illegible]合計三十[illegible]八萬五千四百五十六圓を呈せるが尙之を前年同期に比較する時は輸出に於[illegible]〇七十六圓[illegible]一圓の減退を示し居れり今輸出入品の重なるものを左に揭げん

輸出	大豆及小豆	六九、六三五圓
同	米	二三、〇四〇
同	[illegible]	[illegible]
同	木材及板	一四、二〇三
同	絹布	二〇、五二二

●岩崎民長出張用向

[illegible]筈なるが往復日數約三十日間の豫定にして先づ橫濱に至り港灣の設備其他海陸聯絡の狀態等精密に涉る調査を遂げ其れより大阪、神戶に引返し[illegible]を經へ歸[illegible]

●邦人[illegible]國道布設請願

在沙里院の日本人會は沙里院より海州に至る道路を國道として布設せられん[illegible]

●天氣豫報（自廿三日午後六時 至廿四日午後六時）

[illegible]最低溫度 一三、六

●仁川港の貿易 仁川港に於ける本月[…]外國貿易狀況を前年同期に比較する時は輸出に於て八万五千四百五十六圓を減せるが前之輸出入品の重なるものを左に掲げん
輸出 大豆及小豆 六九、六三五圓
百四十五圓 […]千〇七十六圓[…]二三[…]〇一圓合計三十〇[…]六百〇一圓[…]二万八[…]八萬三千百四十六圓にして輸入超過十千六百七十二圓の減退を示し居れり今
同 絹布 二〇、五二二
同 木材及板 二四、二〇三

●岩崎民長出張 […]岩崎民長出張所向[…]の豫定にして先づ横濱に至り港灣の設備其他海陸聯絡の狀態等精密に渉る調査を遂げ其れより大阪、神戸に引返し[…]營なるが往後凡約三十日間を終へ歸[…]

●[…]道布設請願 在沙里院の日本人會は沙里院より海州に至る道路を踏査として布設せられ[…]

總理遭難彙報

▲連累者二名の就縛

▲農相邸の密議 二十二日事變の發生するや各大臣は驚愕なす處を知らず何れも色を失し午後四時より各大臣は農相邸に集合して密議を凝したり

▲連累者の逮捕 二十二日午後八時頃中部警察署の手に於て兇漢李在明の連累者として左記二名を逮捕せり
平壤生れ現住中部下廉洞二三の二 大韓醫院醫學生 金龍文(二三)
同上 平壤生れ現住中部寺洞表勳院内 金定益(二三)

▲兇行者の取調 兇漢李在明の取調べは京城地方裁判所伊藤檢事主任となり二十二日午後四時より警視廳訊問に於て取調べに着手せり

▲系統と其明言 兇行犯人の系統及其の言明に就きては事未だ豫審にも附せられざる今日なれば茲には之れを明記する能はざるも李在明は平壤鍊光洞生れにして本年二十三歳(昨紙二十一とせしは誤り)也六年前より米國に遊び基督教の信者なるが今日の兇行を爲すに至りたる動機とも見るべきは彼れが常に人に語たる處の李完用が曩きに七箇條及五箇條の協約を締結したるは箕子の社稷を破る國賊なりとの言に徴するも知るを得べく又一説には李完用と共に李容九をも殺害すべしと言ひ居たりと傳ふるものなるも信を措く能はず

▲李完用の容體 一時危篤と迄傳へられたる李完用の容体は其後稍良好なる由なるも何分傷口は意外の深手なれば今後の經過は最も注意を要すべく尚昨二十三日午後一時を以て大韓醫院に入院したり

▲首相邸の混雜 昨日に引續き同邸に見舞ふ者踵を接し又地方より電報を以て經過を問合すもの實に數十通にて頗る混雜を極めたり

▲總理署理任命 李完用遭難に就き一兩日中總理大臣處理の任命あるべしと噂なるが多分内相朴齊純なるべしと

趙重應の大法螺

▲後には俺が控へてる
▲竹千石夫人の新願

佛國教會堂前の慘風……李完用の重態は伊藤公の遭難に續いての兇事にして流説蜚語の盛んなる京城にては種々なる取沙汰ありけるが中に農商工部大臣趙重應の豪語こそ近來の滑稽なり、去る二十二日午前十一時李首相の佛國教會堂に臨む際首相の腰巾着たる趙農商も例に依つて御供申せし處其歸るさは農商工部が教會に近ら爲め首相邸迄見送らず一足れ前きへと門を出で〻直ぐ小宮次官の表門より通り抜けて役所に歸りたるに一歩遲くれし李完用は既報の如き慘劇に遇ひしかば是れを聞きたる趙は取るものも取り敢へず同邸に駈付け種々介抱を加へさて裏門續きなる自邸へ立歸りたるが先程より此樣子を聞きたる元下宿屋の娘前の左夫人一枚下つて今の右夫人光岡竹子は一通りや二通りの驚き樣では無く趙さんが今の椅子にカヂリ付いて居るのも全く李完用樣の御引立其れに若しも完用樣の一命に別條ありし其時は忽ち内閣は瓦解し趙は元の通譯位ひに成下るは必定若し左樣な事に成り果てなば自分や此子(竹子には先夫の連子あり)の處置は、ドウならふと案じ居たる折柄とて趙の姿を見るや取り縋つて仔細を聞げばイツカナ趣がぬ趙重應ドンと胸を一擊し、假令首相に異變があるとも後には俺れが控へて居る内閣の事は氣遣ひないと諭したれば初めて竹子も胸撫で卸しヤレ〳〵是れで落ち附いた能り間違へば首相の夫人にもなれぬでもないと只管其機を待ち居れりとか、さてもさる程に趙農相は引續き首相邸を見舞へる各大臣が何れも蒼くなつて農相邸を訪ね鳩首凝議せる其の中に只獨り趙のみは喜色滿面に溢れ各大臣を集めてハヤ首相氣取り居れりと曾て彼れが水原勸業模範場に一小吏として勤務中本田場長より農相に撰ばれたる旨の通知を受け嬉しさ極はまつて腰を抜かしたる其當時に比すれば大分豪らくなつたものなり

梅博士と其義妹

▲醜關係ありと傳へらる
▲義妹は現に高等の内侍

近頃東京市日本橋區蠣殼町三の一二天野伊之助方を宿坊にせる通稱れ政事田佐木光子(二十五)と云ふ美人あり待合旅館に出沒して操を賣る卑しき者なるが何所も無く品格あり漢語交りに物を言ふ所曰くありげにて仲間には「博士れ政」と綽名され居たり、探つて見れば思きやこの女は東京帝國大學教授法學博士韓國政府法律顧問梅謙次郎氏が義理の妹にて嘗は新進法學士の令夫人として本郷區西片町一つに住みしが破鏡の嘆を見たるてう是非なき、是より先梅博士の亡父薫氏と云は博士が出來ると間も無く夫人順子に死別れ、田佐木久子(五四)と云を後妻に迎へたるが久子には前記光子と云ふ連れ子ありそれより家庭面白からず斯くて薫氏は卅八年四月中相州酒匂の別莊にて此世を去り久子の母が博士と仲よからねば久子もともにこの別莊を守ることとなりたるも光子はその後前記の如く一時は身の落着きを得たるも再び酒匂の別莊に憂き月日を送ることとなりし内妹なる光子と兄博士の間に醜聲外に洩れし昨年に至り親娘二人は小石川區原町に一戸を構へ博士よりいくらかの仕送りを受け居たるが日に〳〵生活困難に陷いるより光子は人の口車に乗せられて本年十月初旬茨城縣稻敷郡藤蔵川岸柳茂亭と云ふ曖昧茶屋の酌婦となつて住み込んだり、何しろ田舍者に袖引かるゝがうるさく去十一月三日の日東京に逃げ歸り又た奉公口を探さんとて前記天野方に身を托し世に時めける博士の妹として高等の内侍と名のみ美しき賤しき勤めをなし居るなりとか、さゝに母娘が酒匂を引上げるに就いては大審院判事板倉松太郎氏も間に立つて斡旋せしとあり、なは光子には現に園子(五つ)と云ふ女兒あり目下芝區芝口三丁目旅人宿紀の國屋の養女となつて居りこの子は日本橋區矢の倉櫻井病院で秘密に產落したるといへば先夫の子か博士の子か疑はしと云ふものもありと

丸京呉服店の暗鬪

▲支店引揚派と繼續派

本町四丁目丸京呉服店の山師的營業振りが當地の人氣に叶はず日に店務悲境に陷り不遠閉店す可き事は本紙が曩きに豫言したる處なるが右は愈々事實となり當節季の大賣出しを機として一先づ當地を引揚ぐる旨夫々新聞紙にも廣告したるが今其内幕を聞くに閉店派は主人鹿太郎を初め參謀井の宗外店員桑原若林等にして彼等は困難なる現况より脱して京都本店に引揚げんとし一方尾花等一派の店員は此際大に店務を整理し明春より引續き經營せんとせしかば茲に端なくも兩派の衝突となり引揚派は本店報告の材料として種々帳簿上の資料を作爲し且つ繼續派に對せる中傷的事實を報告し又一方は極力之れに反抗し防禦策を講じ居れりとかいつもながら文句の絶へぬ店と云ふべし

●鍼科マッサージ 神奈川縣指定横濱盲人學校卒業生津門丑之助、故陸軍軍醫監長瀬時衡氏門生斎藤造の兩氏は今回當地南山町一丁目三十二番地に居をトし腦、脊髓、神經系統之諸症、胃腸病、子宮病、リウマチス、婦人ちらこり、ちらみ、くじき其他の諸症に對し鍼治、マッサージ電氣療法に從事すべしと云ふ使用電話三八四

●脱營軍人の處分 端たなき一女郎の色香に溺れて脱營の大罪を犯し自暴自棄紛れに釜山にて拐帶犯を敢てせし佐賀生れの下關要塞砲兵德永敬市(二三)は仁川署にて取調中なりしが身軍籍にある爲め一昨日仁川憲兵分遣所に引渡されたりといふ

●仁川裁判だより 仁川裁判所にて再昨日公判開廷の結果既報の竊盜及び詐僞取財犯足立一は懲役五年に竊盜及ひ手形僞造詐僞取財犯原田光三は懲役四ヶ月に處刑さる

●一昨夜の新町と敷島 新町遊廓の嫖客は八十九人此散財額四百七十七圓二十八錢又仁川敷島の同日揚り高は二百五十六圓七十錢登樓總數は六十七人

各地の新聞

▲日本人喰虎死す 日露戰役の際一露人が日本人の妾を喰はしたりとの説ありて有名となれる大連西公園の虎は十九日病死せり

▲酒の造石課税高 熊本、福岡、大分、長崎、佐賀五縣下に於ける本酒造年度十一月中の酒類課税高は清酒四千二百三十六石六斗九升一合、濁酒千九十一石二斗四升五合、白酒三十一石五斗八升七合、燒酎千百九十七石二斗六升六合にして前年度の同月に比し清酒千六百四十一石六斗七升九合を減じ濁酒二十二石五斗九升一合を增し白酒十八石八斗一升五合を減じ燒酎二百八石六斗六升八合の減少なり

▲福岡市の壯丁數 福岡市四十三年度の壯丁人員は主任に於て適齡者の帳簿に就き調査を終りたるが其人員は五百二十一名にして之を四十二年度の壯丁人員四百五十八人に比すれば六十三人の增加を示せり

▲盲者電車に轢る 十七日夜十時頃東京市日本橋區元柳町廿二番地先にて同區久松町三五義太夫師匠船山彦助(三一)と呼ぶ盲人は貸母チイサ(五五)に手を曳かれ市電車線路を横切らんとして淺草行電車(千一號)に轢倒され彦助は左足チイサは右足に二箇所負傷せり

▲宮中御裳捧持者 宮中新年式の節皇后陛下皇太子殿下其他各皇族妃殿下の大禮服御裳を捧持する者は例年學習院學生中より學術品行優勝の者を選び乃木院長より御裁可を請ふの例なるが來年の捧持者は十八日左の十四名を選抜したり
淺野長武(淺野長之氏息) 小笠原豐(小笠原長生子息) 佐々木行孝(佐々木高行侯孫) 仙石久英(仙石政固子孫) 田正(田健治郎男息) 安保宗八(故安保清康男孫) 長谷川東吾(長谷川好道子息) 子爵長岡護孝(故長岡護美息) 末松春彦(末松謙澄子息) 相馬正胤(相馬順胤息) 大迫勝(大迫尚敏子息) 船越光輔(船越衛男孫) 川田吉雄(川田龍吉男息) 本多忠次(本田忠敬孫)

▲子爵谷干城夫人 谷子爵夫人玖滿子は平素至つて強健にて去十三日俄然輕度の心窩苦悶症狀を呈したるも即日常態に復し爾來一週間異狀なかりしに十八日曉に至り再び極めて輕微なる發作あり十九日午後九時過ぎ何等の異狀もなく爽快に就眠せしに一睡の後突然激烈なる心窩苦悶發作あり直に心臟痲痺を來し應急手當も其効なく僅に十分を出でずして午後十一時十分遂に卒去せり病名は心臟狀動脈硬化症にて心臟動脈閉塞を起せるものなりと享年六十六

吉凶鏡　本町五丁目　三一館判
十二月廿四日　舊十一月十二日　戊午破△一白　●●白佛滅
窮厄なり新事變更効なし兒女のため心痛若くは世話あり△
●二黒 不如意の日とす新事之を見合すべし訴訟相談婚姻養子の談等大に凶△
●三碧 潤達の日なり旅行開業店入門婚姻相談等効有り盜難及散財事を戒しむ△
●四綠 順進利達の日なり收利若くは勢位を增すあり紛失防ぐべし△
●五黄 不振衰廢の日なり新事手控の事紛爭盜害防ぐべし△
●六白 不意の會見遊近めり交際上衝突疎隔起り易し△
●七赤 潤を得る事あり子孫使用人より配慮損害ある勿れ△
●八白 窮厄なり飢餓延滯多し盜難詐害防ぐべし△
●九赤 不得要領に終らん新事見合せの事農林の業には吉

特別廣告

時局問題研究會發會式を兼ね來る二十五日午後六時より三好町歌舞伎座に於て時局問題政談大演說會を開催す同感の士は奮つて來會せよ
主催者 時局問題研究會

●天氣豫報 自廿三日午後六時至廿四日午後六時 […] 最低温度 […]三六

勅題模様（新年の雪）半ゑり ふくさ

歳暮御進物用適當品荷着

明治町一丁目 電話千四百九番

ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社（四九〇）

●渡勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生（四九三）

年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と四疊二間建樓井戸物置設取付家賃相談 氏名在社（四七八）

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他諸官衙には便益の地希望に應じ割引 上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●電話讓渡たし 氏名在社（四九六）

電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

廣告

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

大勉强 理髪 長崎床 龍山榮町民團役所下四ツ角 塚田

龍山榮町 歐米新式高等裁縫 田口洋服店 電話三二二番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

入院隨意 龍山新市街山下町 内科 小兒科 眼科 原醫院

龍山老松町 陸軍官衙御用達 建築土木工事請負業 礒口商店 電話一一九番

電話開通 五四六番 龍山元町三丁目 鳥獸類其他 獵具販賣 津村漁獵團

電話開通 五三九番 龍山榮町 建具指物類 硝子板販賣 渡邊商店

折箱製造元 京城明治町一丁目五十番戸 漢城病院下横へ入ル 箱信事 鳥山商店

東京足袋

本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

京城聯合大賣出し福引券差上升

▲忘年新年宴會は梅の家に限る▼

どんな少數の御宴會でも丁寧に、何程多數の御宴會でも粗惚のなきことは梅の家の獨擅ですか、取り分け

破天荒の大勉强

忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます

御料理 梅の家 大和町三丁目（電話七三五）

破天荒の大勉强

▲電話開通千二百九十七番▼

豫て料理の美味と輕便と廉價を以て命として營業致し居る海山亭は今回東京より腕利の板場を迎へ會席御一人前五十錢より十圓迄如何程にも調理致します取り分け忘年新年の御宴會は破格の勉强致しますゆゑ故ぜひ御光來の程願上ます

▲忘年新年と海山亭御宴會▼

海山亭 京城櫻井町 電話千二百九十七番

石川高等法院判事閲 今村内部警務局警視閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一册●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右豫て發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等、等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規とし御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か需要に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付けられ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

開業祝として一割引

かいきまわた

進物用眞綿眞綿製防寒具類

京城代理店 栗永商店 京城本町一丁目（長谷川町へ通る）

京城聯合大賣出し

歳末に際し顧客各位の盛運を祈り且平素の愛顧に酬ゆると共に市況の繁榮を圖らんが爲十二月一日より同三十一日迄左記の方法に依り全市聯合大賣出しを開催致候間左記の目標を掲げある加入各店にて御買入被成下度此段奉願上候

加入店目標

景品

一等　金三千圓（債券）

二等　金一千圓（同）

三等　金五百圓（同）

四等　金二百圓（同）

五等　金一百圓（同）

六等　金五百圓（各店商品切手五拾本）

七等　金二千五百圓（各店商品切手貳千五百本）

以下空籤なし

御買上金五十錢毎に景品券一葉進呈仕候

賣出期間　明治四十二年十二月一日より同三十一日まで

抽籤期日　同四十三年一月七日 京城日本人商業會議所に於て各新聞社及公衆立會の上

景品引替期日　同一月八日より同三十一日迄

京城聯合繁榮會

（京城日本人商業會議所内）

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 韓國特約販賣店 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番

時計卸小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目 電話千十五番

たやすくうります

綿わた綿ワタ

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ツ角

御問屋 唐川商店 電話二六一番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醤油 製造元

大上商店

京城本町五丁目（電話二五一番）

和洋酒、罐詰、乾物、穀物、麵類、銘茶、鰹節、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒物、其他特約販賣品御望に依り商品切手調進仕候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

辯護士 岡田榮

京城旭町一丁目六十七番戸（電話三九八番）

景品附歳暮大放賣

京城本町二丁目

富田靴店（電話九一九番）

十二月十五日より卅一日迄

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

東京海上運送火災保險株式會社

資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店 京城南大門通（電話四二〇）

本店 長崎市築町 支店所 大阪、熊本、五島、佐世保、京城、仁川、木浦、釜山、元山、鎭南浦、羣山、濟州、馬山、平壤

其他日本、韓國枢要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩…）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

★株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町一丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野

東海道　住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新湊、高岡、新潟

山陰道　舞鶴、米子、境、松江、久手、大田、鳥取

山陽道　龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、小郡、長府、網干

南海道　牛窓、味野、郡山、岡山、若見、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、廣州、本、撫養、徳島、寄通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道　直方、飯塚、博多、福岡、若松、門司、久留米、若津、中津、小倉、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道　函館、小樽、札幌

臺灣　臺北、臺南

清韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羣州、大邱、群山、安東縣、晋州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

株式會社 日本郵船 仁川出帆廣告 電話十番

瀛船

仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月十五日後三時出

●大連、芝罘、秦皇島行 高砂丸 一月十八日正午時出

●大連行 山東丸 一月三日午前六時出

●大連行 酒田丸 一月三日正午時出

●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 十二月廿九日午後時出

御注意 …